

## インゲン (マメ科)

インゲンは手軽に何回もまけるので三度豆とも呼ばれます。マメ科の中では比較的肥料を多く必要とします。

作型 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハウス・トンネル栽培			保温 播種	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露地栽培				—	—	—	—	—	—	—	—	—

### 1) 適地

温暖で冷涼な気候を好み、15～25℃が適温です。10℃以下では花蕾の発育が悪く、生育不良となります。30℃以上の高温では花落ちが多くなり莢つきが少なくなります。土は特に選びませんが、耕土が深く肥沃で排水のよい畑が適します。

### 2) 品種

草丈が2～3mになるつる性種と40～60cmのつるなし種があります。つる性種は収穫までに日数がかかりますが、収穫期間が長く、つるなし種に比べて耐暑性に優れています。つるなし種は早く収穫でき、支柱を立てる必要もなく、栽培が容易ですが、収穫期間が短くなります。

つる性種：モロッコ、黒種衣笠、つるなし種：さつきみどり、つるなしモロッコ

### 3) 作り方

【圃場の準備】播種の1か月前に1m<sup>2</sup>当たり2kgの堆肥と100gの苦土石灰を施し、深く耕しておきます。播種の1週間前に基肥として1m<sup>2</sup>当たり高度化成肥料100gを施し、つる性種は幅150cmの畝を、つるなし種は幅80cmの畝を立てます。

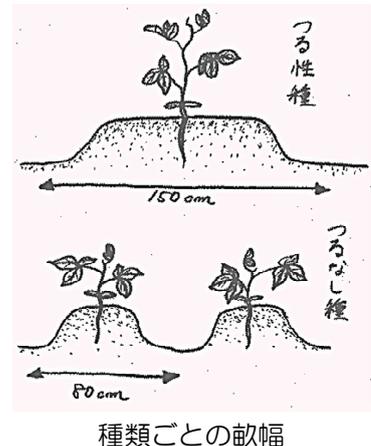
【播種】つる性種は1条で株間40cm、つるなし種は2条で株間25～30cmとします。種は1か所3粒播きにし、2cm程度の覆土をしたらモミガラや切りワラを敷きます。

【間引き】本葉が2枚くらいになった時に1か所2本に間引きます。

【敷きワラ・支柱立て】草丈が20cmになった頃に敷きワラをし、つる性種は支柱を立てます。敷きワラは最初薄くし、梅雨明け後は地温上昇と乾燥防止のため厚くします。

【追肥】過繁茂になると落下が多くなるので、草勢を見て開花初めから追肥を行います。つる性種は生育期間が長いので15日に1回の間隔で、高度化成肥料を1m<sup>2</sup>当たり20g追肥します。

【収穫】開花から12～15日ぐらいで、種がふくらむ前の若莢を収穫します。



### 4) 病虫害防除

根腐病や立枯病は土壌伝染性の病害なので連作をさけ、水はけをよくします。さび病や炭疽病はつるが混みすぎたり、草勢が衰えたりしたとき発生が多くなります。アブラムシ類、アザミウマ類が発生しますので、早めに防除します。